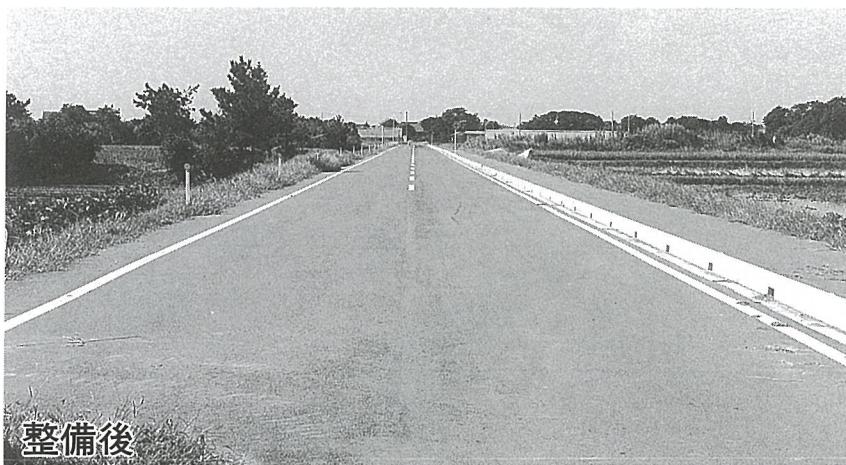


支出額トップは 農林水産業費

支出の内訳をみてわかるとおり、最も多くのお金が使われてトップに立ったのは、農林水産業費です。農林水産業費の支出が大きく伸びた主な理由は、そうさ農協が行った一元集出荷場建設事業に多額の補助を行つたことや栗山川河川改修に伴う食肉センター浄化槽



道幅も広がり、見違えるほど整備された町道2383号線（尾垂地先）



道路整備は着実に
一方、土木費は前年度と比較して減少となりましたが、土木費に含まれる道路整備は、町の主要事業の一つです。平成7年度も町道0103号線（台・小川台地先）・2383号線（尾垂地先）の改良工事を行い、見違えるような道路ができました。この他、排水整備や舗装修繕、スクールラインの自歩道設置工事など多くの事業を実施しました。

健全財政を続けるために：
決算は、今後の財政運営の手引きとなるのですから、これを基に更なる健全性の確保に努めます。

食肉センター特別会計
食肉センター施設整備事業
1億2628万円

健康づくり推進事業
国民健康保険特別会計
849万円

学校給食充実事業
海外・国内体験航海事業
36万円

図書館図書購入
文化・スポーツ施設維持管理事業
4682万円

生涯学習推進事業
青少年海外視察研修事業
190万円

光中陸上競技場改修工事
791万円

災害用備蓄品購入
327万円

消防施設整備事業
869万円

集水複合井戸設置事業
258万円

支出額トップは 農林水産業費

移転工事のため特別会計へ多額の繰り出しを行つたたしを受けたことにより、食肉センター特別会計の収入は大幅に伸びました。（7ページ参照）

前年度トップの教育費は、文化・スポーツ施設の建設事業終了により、約8億8千万円減額となり3位でした。

災害対策は大丈夫！？

災害に強い安全なまちづくりの推進を図るために積極的な予算措置を行つたことにより、消防費は5・2%の増加となりました。

緊急防災基盤整備事業 耐震型地下水吸い上げ装置（集水複合型）

能力／日量「五〇〇t・連続運転可能

光町役場



大規模災害時に生活用水を確保するため、光文化の森公園に設置した集水複合井戸